

Work Life Balance ワーク・ライフ・バランス 仕事と生活の充実を図りましょう！

効率的に働いて

年次有給休暇 を活用しましょう！



職場の全員で だれもが「休暇を取得しやすい環境づくり」に取り組みましょう！

休暇の取得促進に向けて
労使が協力して取り組む
ことが必要です

具体的には

経営のトップから社内の休暇
取得を呼びかけましょう

管理者が率先して休暇を
取得しましょう

労働組合等による、企業・労働
者への働きかけも考えられます

パースデー休暇や半日休暇な
ど多様な休み方を検討しましょう

事業主の皆様へ 年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しましょう！

年次有給休暇の計画的付与制度とは？

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの日数分については、労使協定を結べば、計画的に休暇日数を割り振ることができる制度です。この制度の導入によって、休暇取得の確実性が高まり、従業員にとっては予定していた活動を行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営に役立ちます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の従業員

5日

5日

事業主が計画的に付与できる 従業員が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の従業員

15日

5日

事業主が計画的に付与できる

従業員が自由に取得できる

8月は年次有給休暇を夏季
休暇や祝日に絡めて、連続
休暇を計画しましょう！！



例えば・○は夏季休暇、○は年次有
給休暇設定日とするなど8月はこんな
活用が考えられます

清水みなと祭り期間

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 山の日
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

年次有給休暇を取得することのメリットは？

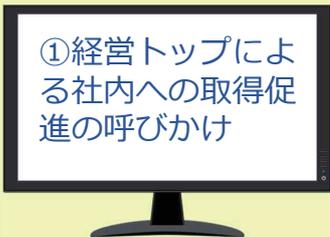
昨年度のアンケートで静岡市内の休暇の現状と今後の方向性について調査しました。

年次有給休暇を積極的に取得することのメリットは「**従業員の心身の健康につながる**」「**従業員のモチベーションが向上する**」が事業場、従業員とも多く、事業場、従業員の認識は概ね共通しています。



年次有給休暇を取得しやすい環境は、仕事に対する意識やモチベーションを高め、仕事の生産性向上そしてイメージの向上や優秀な人材の確保につながるなど、事業場、従業員双方にメリットがあると考えられます。

静岡市内事業場での取組好事例です！



①経営トップによる社内への取得促進の呼びかけ

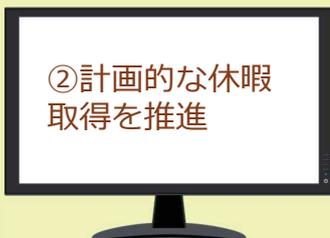


管理職と労働組合、双方による取得状況確認及び計画的取得の呼びかけ。

(駿河区 金融・保険 200人以上)

管理職への意識付と部下への呼びかけを始めた。閑散期にまとめて取得するよう呼びかけている。

(清水区 運輸 50~99人)



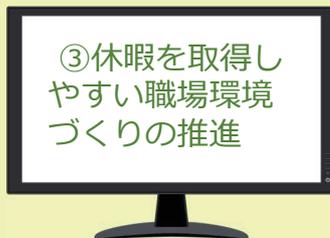
②計画的な休暇取得を推進

年度始めまでに1年間の申込を受付、年間の休暇の予定を全部入れて、全員計画を立てるようにしている。後日変更は可能。

(葵区 小売・卸売 9人以下)

勤務表作成時に各自で年次有給休暇の取得数を把握している。また取得状況について上司が確認している。

(葵区 医療・福祉 100~199人)



③休暇を取得しやすい職場環境づくりの推進

多能工化による交代勤務要員の獲得と育成。休日当番体制の見直しを行っている。

(清水区 小売・卸売 20~49人)

課ごとに業務状況により、交代で取得するよう管理職が調整し、完全取得を目指すよう指導している。

(駿河区 教育支援 20~49人)



働き方・休み方改善ポータルサイト

厚生労働省では、企業の皆様が社員の働き方・休み方の改善に向けた検討を行う際に活用できる「働き方・休み方改善ポータルサイト」を開設しています。サイトでは、専用指標によって企業診断ができる「働き方・休み方改善指標」や、「企業における取組事例」などを掲載しているほか社員の皆様が自らの働き方・休み方を振り返るための診断なども行えます。

<http://work-holiday.mhlw.go.jp>

働き方・休み方改善ポータルサイト

検索

